

平成22年度 定期作況報告

(6月20日現在)

北海道立総合研究機構
農業研究本部畜産試験場

. 気象概況

5月下旬：平均気温は平年より2.2 低く、かなり低かった。降水量は平年比305%でかなり多かった。日照時間は平年比98%で平年並だった。

6月上旬：平均気温は平年並だった。降水量は平年比43%でやや少なかった。日照時間は平年比92%で平年並だった。

6月中旬：平均気温は平年より2.5 高く、かなり高かった。降水量は平年比151%でやや多かった。日照時間は平年比130%でかなり多かった。

以上のことから、本期間は平年と比較して気温は平年並、降水量はやや多く、日照時間は平年並であった。

	5月下旬			6月上旬			6月中旬		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 ()	8.8	11.0	2.2	12.9	13.2	0.3	17.2	14.7	2.5
最高気温 ()	13.2	16.2	3.0	19.0	18.4	0.6	22.2	19.7	2.5
最低気温 ()	4.4	5.7	1.3	7.1	8.2	1.1	12.7	9.6	3.1
降水量 (mm)	104.0	34.1	69.9	9.5	22.0	12.5	38.5	25.5	13.0
降水日数 (日)	5	4.5	0.5	3	3.5	0.5	3	4.1	1.1
日照時間(時間)	45.2	46.2	1.0	50.2	54.8	4.6	60.9	46.7	14.2

注1 . 各数値は旬の平均または合計。 印は減を示す。

注2 . 平年値は前10か年の平均値。

. 作況

1 . 牧草

1)チモシー (採草) 作況 1番草：平年並

事由：6月に入ってから生育はおおむね順調であった。出穂始は平年より3～5日遅かった。刈り取り時の草丈は102～103cmでほぼ平年並であった。生草収量は3,434～3,603kg/10aで平年より108～276kg多かった。乾物収量は測定中である。したがって、目下の作況は平年並である。

	2年目草地			3年目草地		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
出穂始(月.日)	6.18	6.14	4	6.18	6.15	3
1番草収穫日(月.日)	6.21	6.18	3	6.21	6.17	4
草丈(cm)	102	101	1	103	99	4
生草収量(kg/10a)	3603	3495	108	3434	3158	276

注)平年値は、2,3目草地ともに、前7か年のうち、最良年(H18)と最不良年(H21)を除く5か年平均値。

2)オーチャードグラス(採草) 作況 1番草:不良
2番草:やや良

事由

1番草:生育期間はおおむね低温、多雨に経過し、出穂始は平年より2~4日遅かった。

刈り取り時の草丈は平年並であった。乾物収量は平年より63~83kg/10a少なく対平年比は83~88であった。これらのことから、作況は不良である。

2番草:1番草刈り取り以降、高温に推移し、草丈は平年より10~17cm高かった。したがって、目下の作況はやや良である。

	2年目草地			3年目草地		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
出穂始(月.日)	6. 9	6. 5	4	6. 8	6. 6	2
1番草収穫日(月.日)	6.10	6.10	0	6.10	6.10	0
草丈(cm)	101	98	3	93	96	3
生草収量(kg/10a)	2689	3435	746	2150	3162	1012
乾物率(%)	17.0	15.7	1	18.4	15.4	3
乾物収量(kg/10a)	456	519	63	395	478	83
同上指数	88	100		83	100	-
2番草草丈(cm)(6月20日)	42	32	10	41	24	17

注1)平年値は、2目草地が前7カ年のうち、最良年(H15)と最不良年(H21)を除く5カ年平均値。3年目草地が前7カ年のうち、最良年(H15)と最不良年(H20)を除く5カ年平均値。

2) は減を示す。

2. サイレージ用とうもろこし

作況:良

事由 :

播種は平年並の5月19日に行い、発芽期は平年より1日遅い6月3日であった。播種後の5月下旬に十分な降水があり、6月中旬には気温がかなり高かったため、草丈は平年値を大きく上回り、葉数もやや多い。以上から目下のところ作況は良である。

項目	本年	平年	比較
播種期(月日)	5.19	5.19	0
発芽期(月日)	6. 3	6. 2	1
草丈 (cm)	47	31	16
葉数 (枚)	6.0	5.3	0.7

注1. 平年値は前6か年のうち平成21年(凶年)を除く5か年の平均値。

注2. 印は早または減を示す。

注3. 供試品種は「チベリウス」。